

より快適な施設のために……

2013年 第1次大規模改修工事無事終了

2010年10月から実施してきた大規模改修工事(2013年まで)も無事に終了し、東京ビッグサイトの館内・屋外とも非常に使いやすく、また新しい施設に生まれかわりました。今まで手掛けてきたトイレ改修・増設・オストメイト設置、レセプションホールのカーペット更新、ホール内ブロック点灯式照明化、共用部のダウンライト照明のLED化、ガラス屋根の省エネ化、中央監視装置の更新等多岐にわたって行ってきました。この間主催者や関係者の皆様にはいろいろとご不便・ご協力をいただきまして感謝しています。

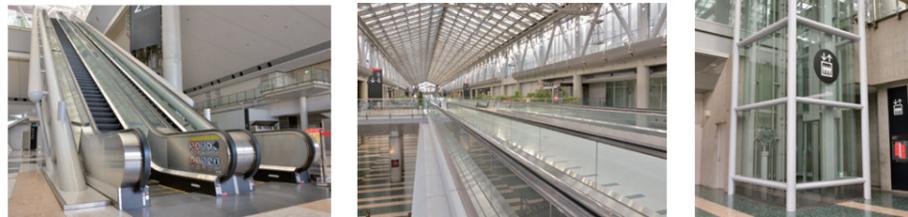
●2013年度は耐震性が整っている東京ビッグサイトですが、より安全性を高めるために梁の落下を防ぐ落梁防止工事を行いました。



落梁防止工事

2014年 第2次大規模改修工事いよいよスタート予定

●2014年からいよいよ第2次大規模改修計画に入ります。東京ビッグサイトをご利用いただくお客様の満足度をより一層高めるため、また、安全・安心・快適にご利用いただくために実施するものです。皆様のご協力をお願いします。(なお、現段階では全て予定となっておりますので、今後、検証・計画等により変更されることもあります。)



手すり設置工事(予定)

エレベーターの改修(予定)

安全・安心に向けて……

2013年の実績

●放水銃による放水試験及び火災初動対応講習会の実施

2013年8月20日(火)、展示会の主催者、協力会社、消防関係者約300人の参加中、『放水銃による放水試験及び火災初動対応講習』を実施しました。



2014年のお知らせ

●会場利用に関わる災害防止講習会の実施

今回初めて展示会業界に従事する関係者の労働災害事故発生を防止することを目的に、外部講師を招聘し、具体的な判例・事例を交えた講習会を実施します。

日 時：平成26年3月10日(月) 14:00~17:00

場 所：東京ビッグサイト 605-608会議室

対 象 者：主催者、装飾会社等
※以下予定

参加者数：250名

講 師：中央労働災害防止協会
建設業労働災害防止協会

BIG 2014 SIGHT

No.32

東京ビッグサイト広報誌

Top Message
Topics
Focus
News



新しい未来をひらく 「出会い」と「感動」を 東京ビッグサイトから 発信し続けます。



新年明けましておめでとうございます。平成26年の年頭にあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。皆様には、日頃から弊社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

長年低迷が続いた日本経済は、海外経済の下振れリスクはあるものの、着実に上向いており、先行きに期待感が持てるようになってきました。他方、景気回復の実感は、未だ十分に浸透していない状況でもあります。そのような中、東京ビッグサイトでは、昨年も約300件の展示会等が開催され、我が国の経済活性化、産業振興に大きな役割を果たすことができたものと考えております。

さて、昨年9月7日、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定し、都市基盤の充実、国際化の推進、復興の加速など、日本再生への起爆剤となることが期待されております。

東京ビッグサイトも、メインプレスセンター等としての活用や施設の拡張が予定されており、大会の開催は、更なる発展に向けた絶好の機会となります。本年は、大会組織委員会も発足するなど、大会開催に向けた準備を本格的に開始することとなりますが、弊社においても、オリンピックの成功に寄与するとともに、弊社の事業をできる限り円滑に進められるよう努めたいと考えております。

2020年のオリンピック・パラリンピックでは、東京ビッグサイト以外にも臨海地域に多くのオリンピック関連施設の設置が予定されていることから、今後、臨海地域のますますの発展が見込まれております。有明に立地する東京ビッグサイトも、隣接するお台場周辺の観光スポットとも連携しながら、臨海地域を訪れる人たちの楽しみを増やす努力をするなど、臨海地域のまちづくりや活性化により一層貢献していきたいと考えております。

また、本年は、半世紀以上にわたり日本のモノづくりを支えてきた「JIMTOF2014(第27回日本国際工作機械見本市)」、10年目を迎える「危機管理産業展2014」の2つの弊社主催展示会を開催いたします。弊社では、主催展示会を通じ、様々な分野における日本の優れた技術力を世界にアピールするとともに、出展者の皆様の海外展開支援や国や東京都の政策課題の解決に向けた取組も実施してまいります。

弊社は東京ビッグサイトの管理運営や展示会の主催に加えて、有明パークビルをはじめとして、TFTビル、タイム24ビルの管理運営も行っております。入居されているテナントの皆様や会議等でご利用いただいている皆様には、ご満足いただけるよう、引き続き、万全な管理を行っていくとともに、積極的な営業活動を展開し、新たなテナントを獲得する努力も続けてまいります。

今後とも、株式会社東京ビッグサイトでは、展示会事業、ビル事業を通じて、臨海地域を訪れ、ビジネスを展開する多くの皆様のために、安全・安心・快適な環境の提供と顧客サービスの一層の充実を図っていくとともに、臨海地域のますますの発展に貢献してまいります。

最後に、本年が皆様にとりまして良い一年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 東京ビッグサイト
代表取締役社長

竹花 豊



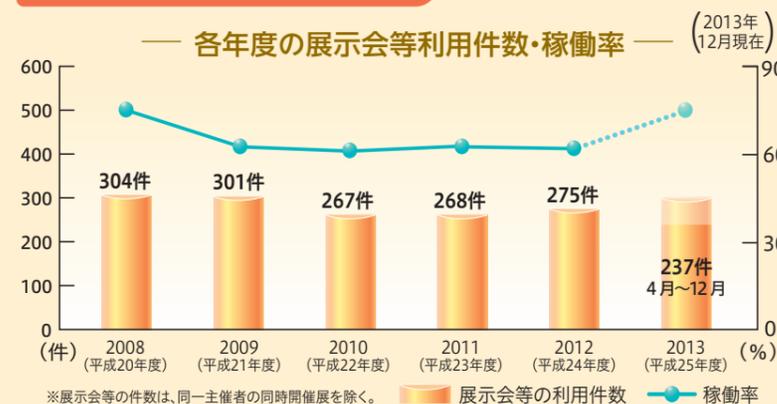
会場の管理・運営

東京ビッグサイトは平成8年の開業以来、数多くの見本市・展示会等の会場としてご利用いただき、わが国最大のコンベンション施設として着実な実績を挙げています。会場の運営業務では、催事の会場予約から準備、搬入・出、開催まで、豊富なノウハウと経験を活かし、主催者をバックアップすることで、展示会等の成功をサポートしています。



2013年の実績

2013年の見本市・展示会等の利用件数は着実な実績を挙げています。



大盛況のうちに閉幕

◆第20回ITS世界会議東京2013

2013年10月14日(月)～18日(金)、「東京国際フォーラム」、「東京ビッグサイト」などで開催されました。ITS世界会議とは欧州・アジア太平洋・米州の産官学が参加する唯一の国際会議です。東京ビッグサイトでは、15日(火)から西ホールで世界の約69カ国・地域から、企業・団体・自治体など計238社/団体による移動交通分野や情報等が展示されました。18日(金)には国際会議場(会議棟7階)で閉会式が行われました。



会場の様子

2018年東京に決定!! ◆第11回国際水協会(IWA)世界会議

2013年5月21日(火)、2018年IWA世界会議招致推進委員会による会場視察がありました。この視察団は2018年に「国際水協会(IWA)世界会議」の開催を決めるもので、世界各地で隔年開催され、日本での開催は初めてとなります。東京のほか、他国の都市と競争をし、見事に2013年9月14日のIWA理事会で東京ビッグサイトが開催会場に決定しました。国際水協会は世界130カ国、約10,000人の研究者、実務経験者を有する水に関する世界で最も大きな協会(学会)組織です。専門家のネットワークを通じ、水の世界的な問題の解決や技術の発展に寄与するものです。



視察の様子

2014年へ向けて

2014年も東京ビッグサイトでは初開催、リニューアル開催を含め多くの見本市、展示会等が開催される予定です。

東京がひとつになる日

◆東京マラソン2014

36,000人のエリートランナーと市民ランナーが東京都庁から東京ビッグサイトまでの42.195キロをかけぬける東京マラソン。10,000人以上のボランティア、170万人を超える観衆など、まさに「東京がひとつになる日。」です。2月23日(日)に開催されます。



©東京マラソン財団

新たな出会いと商談が生まれる

◆産業交流展2014

首都圏の中小企業の優れた技術、製品を一堂に展示する国内最大級の総合見本市。2013年には924社・団体の出展があり、約46,000人が来場し多くの商談が成立しました。次回は2014年11月19日(水)から11月21日(金)までの3日間の開催予定です。



写真は前回の様子

Olympic & Paralympic Games Edition

開催都市が東京に決定

オリンピック・パラリンピック2020年東京大会、東京湾臨海部での開催計画

2013年3月6日(木)、IOC評価委員会のメンバーが東京ビッグサイトを視察しました。9月7日(土)のプエノスアイレスで開催されたIOC総会で、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。

●オリンピック・パラリンピック2020年東京大会でのメディア対応は、国際放送センター(IBC)とメインプレスセンター(MPC)が東京ビッグサイトに設置される予定です。

●東京ビッグサイトは、2020年東京大会のオリンピックでフェンシング、テコンドー、レスリングの競技会場として、また、パラリンピックでパワーリフティングやボッチャなどの競技会場として計画されています。

●東京ビッグサイトは公共交通機関である「新交通ゆりかもめ」と「東京臨海高速鉄道」を利用して移動の利便性の高い場所にあります。その他の予定されている競技会場や銀座、新宿、浅草など東京の名所にも鉄道や地下鉄を使い手軽にアクセスできます。



会場イメージ図(東京都提供)

Building Management

ビルの管理・運営

東京ビッグサイトの大きな柱の1つがビル事業です。臨海副都心の有明・青海地区にある3つの自社ビルの管理・運営を行い、ビジネスを通じた交流の場として一翼を担っています。

■有明パークビル

所在地:東京都江東区有明3-7-11



ホテル、オフィス、商業施設が一体となった複合ビルです。東京ビッグサイトへの来場者の拠点となる「東京ベイ有明フジントホテル」の他、商談の場としてもご利用いただける多彩なレストラン街があります。

■TFT(東京ファッションタウン)ビル

所在地:東京都江東区有明3-6-11



約40社の企業が入居するオフィススペース、3つのホール、研修室・会議室があり、セミナーや展示会、パーティなど多彩なニーズに対応できます。「ワンザ有明ベイモール」には、和洋レストラン、銀行、郵便局、クリニック、保育園等の施設が揃っています。

■タイム24ビル

所在地:東京都江東区青海2-4-32



青海地区にあり、東京都立産業技術研究センターやテレコムセンターにほど近く、情報関連企業が多く入居しています。大スパンの無柱空間を確保したオフィススペースの他、創業支援施設や会議室・研修施設を備えています。

Gourmet

“おもてなし”の心をこめた、名店「アルポルト」。
片岡 護シェフのプロデュースによる、季節感豊かなイタリア料理を。



■東京ビッグサイト会議棟8階
イタリアン・レストラン「アルポルト」東京ビッグサイト店
開店から1年がたち、ベイエリアの夜景が楽しめる眺望の良さと、開放的でゆったりとした空間で味わえる多彩な料理が好評です。季節感あふれる豊富なメニューを堪能いただけます。

■有明パークビル2階
トラットリア「アルポルト」有明店
リーズナブルで季節感豊かなメニューを揃えた“トラットリア”の寛いだ雰囲気の中、本格派イタリアンを気軽に楽しめる店として、開店15年目の今日、多くのお客様にご愛顧いただいています。



展示会主催事業

新たな半世紀へ向けて—JIMTOF2014—

株式会社東京ビッグサイトは、「JIMTOF2014(第27回日本国際工作機械見本市)」(主催:一般社団法人日本工作機械工業会/株式会社東京ビッグサイト)を2014年10月30日(木)から11月4日(火)までの6日間、東京ビッグサイト全館を利用して開催します。2年に1度開催する本展は、1962(昭和37)年に第1回を大阪で開催して以来、今回で27回目を迎えます。

これまで半世紀以上にわたる開催実績を持ち、世界最高水準の技術力を有する工作機械、工具類及びその関連機器等が一堂に会する本展は、世界に誇る工作機械見本市として国内外の関係者から高い注目を集めています。

近年、アジアにおける工作機械製造は、新興国における工作機械の急激な需要増に伴い、生産だけでなく、技術レベルにおいても急速な向上が見られ、日本、中国、台湾、韓国で世界生産の64%弱を占めるに至っています。(日工会調べ)

こうした中、今回のJIMTOF2014は、「モノづくりDNAを未来へ、世界へ」をテーマに、国内外約800社(共同出展者等含む)、5,000小間を超える展示規模を予定しています。加えて、主催者企画展示として、体感型、実演、そして最新注目技術についての講演などを予定し、世界に誇る日本のものづくりへの熱き想いを再認識していただきます。前回展(JIMTOF2012)において半世紀の節目を迎えたJIMTOFは、新たな半世紀へ向けて進化します。



10回目を迎える—RISCON TOKYO2014—

当社は、「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2014」を、2014年10月15日(水)から17日(金)までの3日間、西展示棟を利用して開催します。本展は、2005(平成17)年から毎年開催し、今回で10回目の節目を迎えます。これまで、防災・リスク管理・防犯分野を横断的に統合した国内唯一かつ最大級のトレードショーとして危機管理産業というマーケットの活性化に貢献することを目的としてきました。10回目に相応しい内容となるよう事務局一同開催に向けた準備に取り組んでいます。両展ともこれまで以上に商談・情報交流が行われることと期待しています。



写真は前回の様子

World Vision

海外展示会における ブース・パビリオン運営事業

株式会社東京ビッグサイトは、展示会主催・運営事業の国際化を図るべく、国際事業を展開しています。2014年においては、海外ショーにおけるブース・パビリオン運営を予定しています。その第一弾として、2月11日(火)から16日(日)まで開催される『シンガポールエアショー2014』で、東京都パビリオン(72m)の運営を事業化します。今回、東京都が初めてアジア最大級のエアショーである「シンガポールエアショー」にパビリオン出展するにあたり、当社は、自社の展示会主催事業のノウハウと海外のネットワークを活かしてその運営業務(ブース設営業務や事務局運営業務)を担当します。また、2014年5月にはドイツベルリンで開催される『ILA/ベルリン

国際航空宇宙ショー』で、東京都パビリオン(90m)の運営を事業化する予定です。今後は、海外出展・来場誘致といった日本へのインバウンドと並行して、海外へのアウトバウンド事業も積極的に進めていきます。日本の企業が海外に進出することで日本のプレゼンスが高まり、その結果として日本の展示会への海外出展者・来場者の誘致につながると考え、海外事業を推進していきます。



ブースはイメージ図

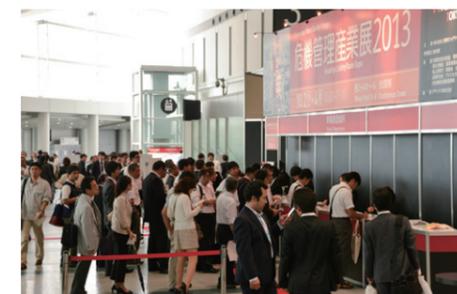
Report of 2013

出会いと感動を振り返って

主催事業

危機管理産業展(RISCON TOKYO)2013

10月2日(水)から4日(金)まで、「危機管理産業展2013」と「テロ対策特殊装備展'13」を同時開催しました。「Innovate! Next Safety Stage ~危機管理のプロが集い、東京から発信する~」のテーマのもと国内外から263社の出展と45,467人(再入場者を含む)の来場がありました。東日本大震災以降、企業・行政にとって一層の強化が求められる「防災」や「リスク管理」、「地域防犯」や「オフィスセキュリティ」の強化等最新の資機材、技術、サービスを一堂に集めました。



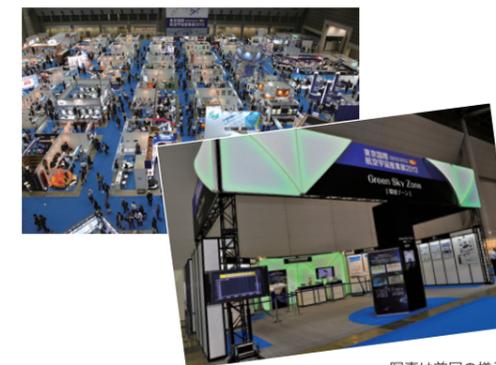
東京国際消防防災展2013

10月2日(水)から5日(土)まで株式会社東京ビッグサイトは東京消防庁、東京国際消防防災展2013実行委員会と共催で開催しました。「Innovate! Next Safety Stage 高めよう防災力~明日に備えて~」をテーマに、東日本大震災を教訓とした各種災害リスクを周知し、都民等の防火防災意識及び行動力を向上させることを目的に267社・団体が一堂に会し124,890人(再入場者を含む)の来場者を迎えました。



東京国際航空宇宙産業展2013

「航空宇宙産業の最新技術・情報を東京から発信する」をテーマに、10月2日(水)から4日(金)まで331社が一堂に会し開催しました。29,417人(再入場者を含む)の来場があり、出展ブースを熱心に見て回る人や企画セミナーなどに耳を傾ける専門家も多数いました。今回は特設ゾーンとして「Green Sky(環境)ゾーン」を設け、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の環境観測衛星の展示をはじめ、関連機関や国内大手エアライン等が航空宇宙分野の環境負荷低減に関する技術や研究等を展示しました。



写真は前回の様子

成功裡に閉幕

運営事業

第43回東京モーターショー2013

「第43回東京モーターショー2013」(主催:一般社団法人日本自動車工業会)は11月22日(金)から12月1日(日)までの10日間「世界にまだない未来を競え」(“Compete! And shape a new future.”)をテーマに、世界12カ国から合計178社・181ブランドが出展し、江東区有明で2回目の開催となりました。来場者は前回を上回る902,800人。日本のモノづくりの強さを「日本ブランド」、「東京ブランド」として国内外に発信しました。多くの方々にクルマの楽しさを実感していただいたのではないのでしょうか。株式会社東京ビッグサイトでは今回も開催運営を全社でバックアップしました。次回開催は2015年の秋を予定しています。



写真は前回の様子